

# 平成18年度 第17回関東高等学校バスケットボール新人大会

平成19年 2月 10日 (土) 会場 ひたちなか市総合運動公園総合体育館

【男子第1回戦】 第1日目 Bコート 第1試合

<b>チームA</b> <b>前橋育英</b> 群馬	90	24 1Q 10 18 2Q 24 27 3Q 21 13 4Q 27 8 OT 5	87	<b>チームB</b> <b>柏市立柏</b> 千葉
----------------------------------	----	--	----	----------------------------------

## 前橋育英

番号	氏名	得点	3P		2P		1P		反則	リバウンド		ターンオーバー	スチール	アシスト	フロッグショット	出場時間 単位:分
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF					
4	佐藤 侑紀	16	3	5	3	9	1	1	1	1	2	3	4	4		40
5	根岸 健太	22			7	14	8	17	3	6	14	2	1	3		45
6	中野 裕市	20	4	12	4	10			1	1	3	2	2	2		45
7	高橋 竜也	11	1	9	4	6			4		2	3	3	5		45
8	小林 拓也	17	1	3	4	12	6	7	5	2	5	6		2		35
9	伊藤 倫耶	2			1	2				1						8
10	織茂 悟士															DNP
11	中村 俊己															DNP
12	小堀 恵太															DNP
13	内田 晃司															DNP
14	神谷 卓宏															DNP
15	竹内 良輔	2		1	1	2			2	1						7
16	野尻 将太郎															DNP
17	勅使河原翔太															DNP
18	富沢 真也															DNP
コーチ	安西 智和															
		90	9	30	24	55	15	25	16	12	26	16	11	16		225
		確率	30.0%		43.6%		60.0%				計		38			

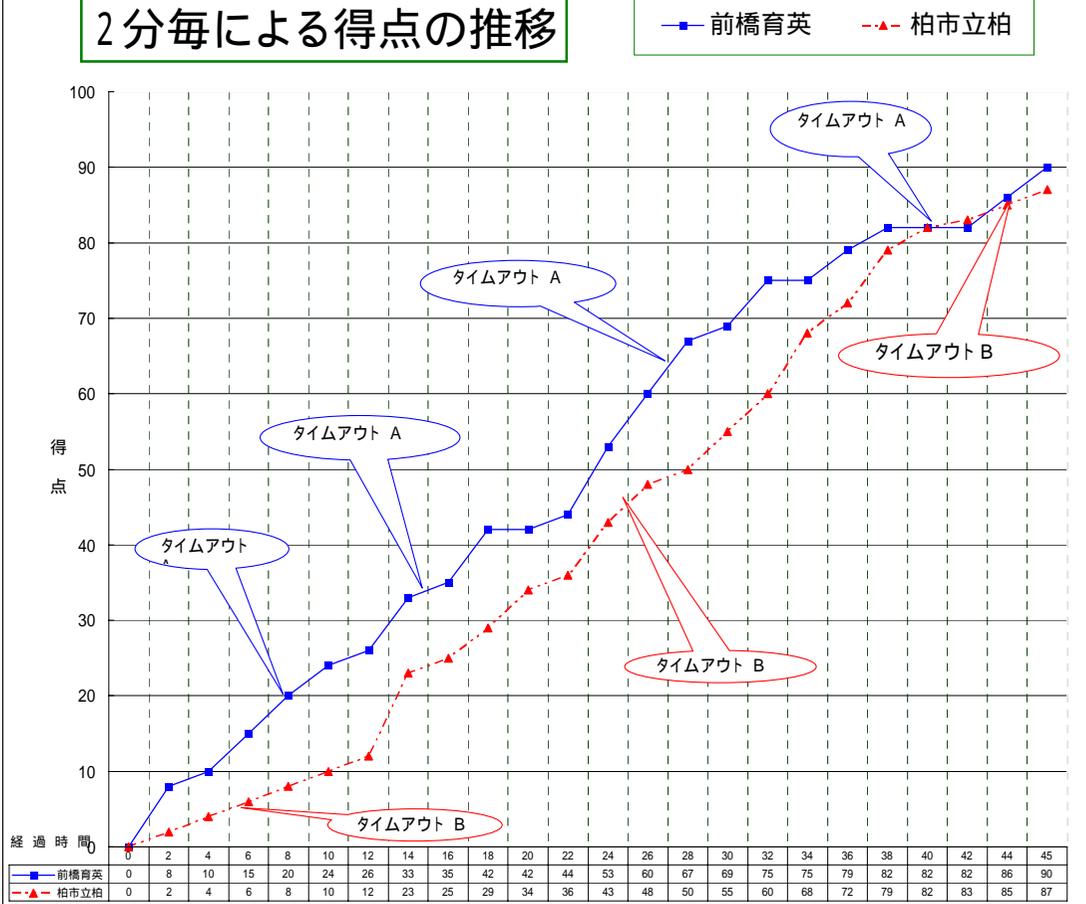
## 柏市立柏

番号	氏名	得点	3P		2P		1P		反則	リバウンド		ターンオーバー	スチール	アシスト	フロッグショット	出場時間 単位:分
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF					
4	南田 隼人	12	2	6	3	10			4	5	3	6	4	7		44
5	森田 大介	15	2	8	4	15	1	2	3	2	6	4	1	2	5	45
6	市川 貴也	9	3	7		3		2	3	1	3					34
7	野平 悠介	2		1	1	1			1							3
8	佐藤 駿行															DNP
9	岩崎 恒															DNP
10	竹井 司															DNP
11	原 和輝															DNP
12	鈴木 聡															DNP
13	宮崎 貴明															DNP
14	林 裕輝	20	2	6	6	8	2	3	1	1	2	2	1	4		31
15	小山 哲	12		5	5	9	2	2	5		4	2	1		1	23
16	吉田 開	12	2	6	2	4	2		1				1	1	1	26
17	大久保 和士	5		3	2	8	1	2	1	4	4	3	1		1	19
18	小林 秀平															DNP
コーチ	飯沼 加寿夫															
		87	11	42	23	58	8	11	19	13	22	17	11	14	8	225
		確率	26.2%		39.7%		72.7%				計		35			

:スターティングメンバー

:出場選手

## 2分毎による得点の推移



## 戦評

両チーム共にマンツーマンディフェンスでスタート。前橋育英は#4佐藤、#6中野が積極的に3Pシュートを狙い、#5根岸が粘り強くリバウンドを拾って得点を重ねる。対する市立柏は、立ち上がり固さが見られ、トラベリングなどのミスが多く、リズムに乗ることができない。第1Pを24-10前橋育英リードで終える。

第2Pに入っても、前橋育英は#5根岸が攻守にわたってリバウンドを支配。相手ファウルを誘い、フリースローで加点していく。市立柏は中盤からようやく#14林、#16吉田の3Pシュートが当たり出し、一気に点差を詰める。#5森田がアウトサイドでプレイすることで、インサイドのスペースを空け、#14林、#15小山が勝負する形がはまり、42-34と市立柏が点差を詰めて終える。

第3P、残り5分の市立柏のタイムアウトまで一進一退の攻防が続く。タイムアウト後、市立柏は、オールコートマンツーマンプレスにディフェンスを変え、プレッシャーを強めて、リズムをつかみかけるが、前橋育英も、タイムアウトを取って対応し、69-55のリードで終える。

勝負の第4P、市立柏はオールコートマンツーマンプレスで激しくプレッシャーをかけて、相手のターンオーバーを誘う。そこからの早めのオフェンスで、#4南田のドライブと3Pシュート、#6市川、#16吉田の3Pシュートが炸裂し、残り30秒でついに82-82の同点に追いつき、延長に突入する。このまま市立柏が流れを持って行くに思われたが、勝負所での市立柏のシュートがごとごとくリングに嫌われる。前橋育英は、落ち着きを取り戻してリバウンドシュート、ノーマークシュートを着実に決め、粘る市立柏を90-87で振り切り、激戦をものにした。

主審 伊藤 裕一(埼玉)

副審 佐藤 賢佑(茨城)

記入者 和田 創一